

# 6/20牛込公会堂へ全力結集を

## 日刊 動労千葉

87. 6. 11  
No. 2573

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

### 鉄道労連解体こそ勝利の合言葉だ

☆☆☆☆☆☆☆☆

すべての組合員のみなさん！

「分割・民営化」の矛盾がいたるところで噴き出している今日、いよいよ動労千葉―動労総連合の真価が発揮される時がきた。差別・選別、「クビ切り」の張本人である動労革マル―鉄道労連に怒りを叩きつけ解体・一掃せよ。「動労千葉」とたたかう国鉄労働者をはじめ連帯する6・20集会」の成功はその突破口だ。動労千葉を支援する会の呼びかけに応え全力で結集しよう。

☆☆☆☆☆☆☆☆

#### 労働運動の

未来がかかっている

今日、労働運動の全民労連化、産業報国会化が強まる中で、いまこそ、戦闘的労働運動の強化・防衛が強く望まれている時はない。とりわけ、今なお不屈に闘いぬいている動労千葉の存在は、全国の闘う国鉄労働者に勇気と勝利の展望を与えている。まさしく、動労千葉―動労総連合の闘いに、今後の労働運動の未来がかかっていると云っても過言ではないのだ。

#### 鉄道労連解体・一掃へ

一方、権力・当局の先兵と化し、反労働者的に延命をはかろうとする動労革マルは、その不正義ゆえに全国の労働者からは打倒の対象とされ、自らも、革マルであるという一点で鉄労との野合が事実上空分解してしまっている。

また、岡山では、動労の方針に反対す

#### 「原職復帰まで闘うぞ」

清算事業団に送られた十二名の仲間達は、清算事業団当局のすすめる再就職（実際は首切りだ）のための研修を断固として拒否し、あくまで「現地採用、原職復帰」を目指して闘いぬいている。

六月一日から新宿と熱海で、二週間の交代で行われる予定であった研修の第一陣に指名された幕張支部の林さんは、「現職復帰をかちとり、動労千葉本隊に合流する。研修を拒否する」と、

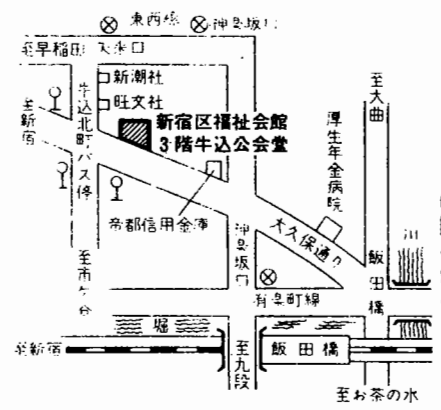
る組合員を革マル役員が告訴し、権力に売り渡すまでに至っているのだ。

すでに明らかなおお、動労革マル―鉄道労連の解体・一掃こそわれわれの勝利に不可決の条件なのだ。

「動労千葉とたたかう国鉄労働者をはじめ連帯する6・20集会」は、まさにその意志統一の場である。全支部から牛込公会堂へ結集せよ。

#### 動労千葉とたたかう国鉄労働者をはじめ連帯する6・20集会

- ★呼びかけ人
- 浅田 光輝
- 北原 鈺治
- 高島喜久男
- 宮島 義勇
- 鎌倉 孝夫
- 佐藤 芳夫
- 永井 満
- 八重樫友美



「新会社」は直ちに全ての清算事業団の仲間を採用しろ。首切りを絶対に粉碎して闘いぬくぞ！

「新会社」は直ちに全ての清算事業団の仲間を採用しろ。首切りを絶対に粉碎して闘いぬくぞ！